

建造物を支える、大事な1施工を担っています。



高田地区海岸災害復旧



久慈市長内橋



宮古市津軽石水門



松尾鉱山



岩手大学農学部 耐震補強



雫石町防災ダム



岩手県立博物館 外壁



陸前高田市 要害橋



岩手県民会館



一般住宅

## ごあいさつ

昭和59年に創業し、支えてくださる皆様のおかげで、こうして40年間続けられ、本当に感謝しております。

創業1番最初の仕事は、姫路の小麦を入れる6本のサイロの施工で、現地の方と長期間を共に仕事しました。とにかく距離がありましたから、その道中は今でも思い浮かびます。地元岩手での仕事も、ご縁があってご紹介をいただき、仕事をするに、とにかく夢中になっていました。

今でこそ便利な機材がたくさんありますが、当時は機材も無く、手で1つ1つ作業していました。弊社の施工技術の基礎はそこから始まっています。また、岩手の冬は氷点下が続く日も多く、樹脂の加減にも苦労しました。

その頃から比べると時代はだいぶ変わりましたが、ただし、機材、材料がどんなによくなったとしても、それを使用するのは人です。物に奢る事

なく、今日の経験も未来の糧にしていかなければなりません。

綺麗に仕上げることを大切にしています。それは自分の道具を大切に扱うことだと思います。このご時世、早い安いは売り言葉もありますが、職人が使う道具はいつも綺麗であること。それが施工の技術、気持ちに繋がっていきます。だいたい前に西根の職人さんたちと仕事をした時、帰りの職人さんの道具がピカピカだったことに感動しました。仕事も本当に丁寧で綺麗でした。

弊社はそのことを大切にしています。それは次の世代にも引き継ぎたいと思います。姫路での仕事の初日に道具を手にとった私と、一緒に仕事をする若い人が同じ気持ちであるために。今後とも、どの現場も大切にしていきます。引き続きよろしくお願いいたします。

安心で安全な暮らしを支えるために。

岩手特殊工事有限公司  
代表取締役  
八倉 義一

